

同時ニ、追々此絲ノ善惡ニ付テ判別スル能力ヲ持テ來ル、内地ノ販路上ニ於テモ絲ノ精良ナルモノヲ供給スルコトヲ考ヘナケレバナラメト同時ニ、外國ニ於テモ殊ニ我紡績絲ノ大輸出地タル清國ノ如キモ、今日我國ノ絲が印度ト競争シテ敗ヲ取ラヌト云フノハ、一ハ其品質が善イトカ勝フテ居ルトカ云フコトが原因ニナツテ居ルヤウニ存シマス、而シテ又清國內地ノ絲モ、今日テハ工藝上ノ知識が十分普及シテ居ラヌタメニ、マダ善イモノヲ拵ヘテ居リマセヌガ、我國ノ絲が印度ニ於テ品質ノ上ニ勝シテ居ルガ如ク、支那ニ對シテモ將來益々絲ヲ良クスルト云フコトノ方針ニ向テ進ムト同時ニ、又清國ニ對シテハ絲ノミナラズ、織物ヲ出スト云フコトニ益々注意ヲシテ行カケレバナラヌト云フコトハ、紡績業者中有識者ノ認ムルトコロデアリマシテ、即チ織物ニシテ出スト云フコトニナレバ、尙一層精撰シタ絲ヲ以テ、精良ナル織物ヲ供給スルト云フコトニナツテ行カケレバナラヌコト、存シマス、是マデハイザ知ラズ、又此七八年若クハ十年前後ノトコロハイザ知ラズ、ソレヨリ先キニナレバ益々此品質ノ善良ト云フコトヲ以テ、商品ヲ海外ニ出サナケレバナラヌノデアリマスカラ、事業上苟モ無理ヲシテ職工ヲ使フト云フヤウナ事柄ハ、成ベク早ク之ヲ撤去シ去テ職工ヲシテ朝カラ晩マデ充分ナル精力ト注意ヲ以テ勤勉ラ以テ、製品ヲ拵ヘサスト云フコトニ仕向ケテ行カナケレバナラヌコト、存シマス、工場法ハ夜業禁止ト云フコトヲ行フノデアリマスガ、夜業ガアル中ハドウモ製品が良クナイ、夜造タモノヲ晝良クスルト云フ點ニ於テ、商業上必ズシモ彼等ノタメニ破ラレルト云フコトノ奈イト云フコトヲ、吾ミハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此事ハ單ニ農商務當局ノ意見ノミナラズ、普ク機業ニ從事シテ居ル者ノ中ノ有識者ノ認メトコロト考ヘテ居リマス、第三點ノ一般工業ノ上ニ打撃ヲ與ヘルコトナキヤト云フ御問デゴザイマシタガ、此與フル與ヘナハ工場法ノ内容ニ關係ヲスル話デゴザイマシテ、若シ著シク現状ヲ轉換シテ、俄ニ多大ノ制限ヲ受ケルコトアルト、現状ニ反動ヲ及ボスコトハ免レナイコト、存シマス、今回提出致シマシタ法案ノ通り若シ行ハレルコトが出來レバ、工業ニ打撃ヲ與フルコトハナイト確言シテ差支アリマセヌ。

○福井準造君 私ハ別方面カラ御尋シタイト思ヒマス、今紡績業ノ御話が出マシタガ、日本程紡績ノ大工場ニ於テ設備が完全シテ居ル處ハナイト云フ御説明ガアリマシタガ、ソレハ設備ノ上ニ於テハ完全シテ居ルカモ知レマセヌガ、職工ノ病氣ノコトヲ考ヘマスト、紡績業者が一番多い、統計ヲ引抜イテソレ申シマスト、肺病患者ノ疑ノアル者ガ百人中四十二人、歸農シテ病氣ニ罹ッタ者ガ百人中四十五人肺病患者デアリマス、其普通ノ死亡率ハ、肺結核ハ千人ノ中七十四人、神奈川トカ東京トカ、衛生上餘り少い處ニアツテモ、千人中百人カ百三十人ト云フモノガ肺病患者ノ死亡率ニナツテ居リマス、肺病患者ノ職工三百八十人ノ中テ、紡績業者ノ職工ガ二百六十一人デアリマス、如何ナル譯アリマスカ、其調査ヲシタモノガアレバ伺ヒタインデアリマス、ソレカラ其豫

防法ハドウニ云フ風ニナツテ居リマスカ、夫等ノコトモ伺ヒタイノデアリマス○政府委員(岡實君) 唯今福井サンノ御質問ノ中デ、設備ハ完全シテ居ルヤウデアルガト云フ御話デアリマスガ、最初ニ御答致シマシタ通り、大工場ハ設備が完全シテ居ルノデアリマス、ソレカラ紡績職工ノ病氣ノ原因ハドウ云フ點ニアルカト申シマスト、是ハ主トシテ徹夜業ノ結果ト認メテ居リマス、徹夜業ノ心身ニ及ボス害ニ付テ調ベタトコロニ依リマスト、晝勤イテ夜寝ルト云フコトハ通常デアリマスガ、ソレヲ逆マニシテ晝ハ日光ノ爲ニ能ク寝ラレヌ、日光ノミナラズ總テノ音響ノ爲ニ寝ラレヌ、ソレカラ晝寝ルコトニナルト日光ヲ吸收シナイ、其他無理ナコトガ様ニ生シテ來ルガタメニ、徹夜業ニ依テ起ル病氣ハ豫想外ニ多イ、此事ハ單ニ女工ニ付テ調ベタノミナラズ、一般紡績職工ニ付テモ、徹夜業ノ爲ニ氣管支加答兒、從テ呼吸器病ニ罹リ易クナテ、結核性モ多ク現ハレテ來ルノデアリマスカラ、徹夜業ノ害ト云フモノハ、其他ノ害ニ比シテ著シイモノガアルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、故ニ先程御話ニナリマシタ統計上ニ示シタ結核患者ノ多イト云フコトハ事實デアリマス、是等ハ徹夜ノ廢止ニ依テ大部分除去シ得ラル、コト、之ヲ紡ギ出シ、晝準備シタモノヲ夜紡ゲト云フヤウナ順序ニナルタメニ、我國ノ希望スル如キ良イ絲ハ出來ヌト云フコトハ、當業者ノ今モ認ムルトコロデアリマス、故ニ生産費ニ於テハ、從前ト違テ、夜業禁止ノ曉ニハ稍々昂騰スルコトハ免レマセヌ、併ナガラ品質ヲ良クスルト云フ點ニ於テ、商業上必ズシモ彼等ノタメニ破ラレルト云フコトノ奈イト云フコトヲ、吾ミハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此事ハ單ニ農商務當局ノ意見ノミナラズ、普ク機業ニ從事シテ居ル者ノ中ノ有識者ノ認メトコロト考ヘテ居リマス、第三點ノ一般工業ノ上ニ打撃ヲ與ヘルコトナキヤト云フ御問デゴザイマシタガ、此與フル與ヘナハ工場法ノ内容ニ關係ヲスル話デゴザイマシテ、若シ著シク現状ヲ轉換シテ、俄ニ多大ノ制限ヲ受ケルコトアルト、現状ニ反動ヲ及ボスコトハ免レナイコト、存シマス、今回提出致シマシタ法案ノ通り若シ行ハレルコトが出來レバ、工業ニ打撃ヲ與フルコトハナイト確言シテ差支アリマセヌ。

○田邊熊一君 其前ニ先刻ノ續ヲヨット伺ヒタ、唯今政府委員ノ御答辯ニ依リト我日本ノ紡績ハ、清國ノ如ク賃銀ノ廉イ低利ノ金ヲ持テ來ルコトノ出來ル、外國ノ企業家ガヤツテ來ルモノト競争シテ打勝シコトハ出來ヌテアルカラ、品質ニ於テ競争スル

○理事(古賀庸藏君) チヨット八木君ニ御注意シマス、文部省ノ政府委員が出ラレマシタカラ

○八木逸郎君 少シ細カイコトヲチヨイチヨイ聽キタウゴザイマスカラ、連續シテ願ヒタ

外ナイト云フ意味ニ聞エマシタガ、現在ノ日本ノ輸出スル紡績ハ、日本デ捨ヘマストコロノ一番劣等ナ品デゴザイマス、品質ニ於テハ殆ト清國ハ日本ノ敵ナシ、若シ清國カ將來ニ工業が發達シテ、日本ノ捨ヘマス製品ノ優等品ヲ望シテモ、日本ハ一日モ之ヲ供給スルニ躊躇スルコトガナイ、然ルニ政府ノ方針ハ、工場法ヲ制定シテ工場主ノ利益ヲ殺ゲガ、清國ニ競争スルニハ品ノ競争ダカラ已ムヲ得ヌト云フ御答辯デアリマスト、日本ノ今日ノ清國ニ於ケル輸出スル現状ニ對シテ、甚ダ政府ノ御考が十分調ガ出來テ居ラヌヤウニ解釋セラル、ト思ヒマス、此點ハ御慎重ノ御調ノ上御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ年齢ノ制限ト時間ノ短縮ト云フコトハ、ドウシテモノ生産費ノ増加ヲ來スコトハ免レヌ、若シ工場主ガ利益ヲ減殺致シマシタ結果ト云フモノハ、必ズ其影響ハ労働者ニ及ボスコトハ當然デアリマス、然ラバ労働者ヲ保護スルト云フ目的ヲ以テ制定致シマスル工場法モ、工場主ニ對スル打撃ガ多ケレバ、必ズ其結果ハ労働者ノ保護ニナラス、反対ノ結果ヲ起スコトニナリハセヌカト憂ヘマス、政府ハ此點ニ於テ如何ナル御注意ヲ拂テ居ラル、カ伺ヒタイ、モウ一つ本會議ニ於テモ質問シタコトデアリマスガ、尙委員會ニ於テ十分ノ御答辯ヲ聽イテ置キタイト思ヒマスガ、工場ノ種類ハ千差萬別デアル、之ヲ監督スル監督官ハ、何レモ相當ノ知識経験ヲ持タケレバナラヌノデアリマスガ、若シ工場ノ知識経験ノナイ人ガ工場ヲ監督スルコトガアツテハ、百害舉ゲテ言フベカラザル結果ヲ來ス、政府ハ僅ニ一二年ノ後ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ明言セラレテ居リマスガ、果シテソレマテノ間ニ千差萬別ノ各工場ヲ監督スルニ於テ、差支ナイ官吏ヲ得ラレル御成算デアリマスカ、若シアリトスレバドウ云フ方面カラ人ヲ得ラレマスカ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 唯今田邊君ノ御質問ハ、清國ニ於テハ外資ガ來テヤル、低

利ナ資本ガ入ルカラ日本ニ打勝ツコトガ出來ヌヤウニ私ガ述ベタヤウニ御解釋ニナッタヤ

ウデアリマスガ、私ハ現在ノ清國ノ狀態カラ、近キ將來ニ於テ清國ノ狀態ニ於テ、必ズ

シモソレ等ノ點ニ於テ日本ハ清國ニ打勝ツコトヲ得ザルモノトハ言ハヌノデアリマス、清國

ハ現状ヨリ進ンテ來ルコトハ認メナケレバナラヌ、其上我國ニ於テ十分品物ノ良イ物ヲ

生産シテ、品質上ニ於テ彼等ノ競争出來ナ立場ニ居ラナケレバナラヌ、始終日本ノ品

物ハ品質ガ良イ、清國ハ品物ニ於テハ競争出來ヌ、而モ價ガサウ高クナイト云フ、サウ

云フ方針ヲ以テ將來進マナケレバナラヌ、是ハ絲ノ話シ、而シテ又將來綿布ヲ出ス方針

モ立テナケレバナラヌ、此綿布ヲ出スコトニスルト、尙更品質ニ於テ今度ハ米國英吉利

カラ來ルモノト競争シナケレバナラヌノデアルカラ、益精良ナル品物ヲ出シテ、而モ高クナ

イモノヲ以テシナケレバナラヌ、今日ノ如キ狀態デ甘ンズルコトハ出來ヌカラ、ソレニハド

ウシテモ熟練シタ職工ヲ工場内ニ留メテ置イテ、彼等ノ優良ナル職工ノ生産スル優良ナ

ル品ヲ出スノが必要デアルト云フコトヲ、私が第一ニ申シマシタノデゴザイマス、第二點ハ工

場主ニ打撃ヲ與ヘルカラ、其結果却テ工場主ガ弱ルカラ、職工ニ非常ニ影響ノ及ブ虞

ガナイカト云フ御質問デアリマスガ、工場内ニ打撃ヲ與ヘルカドウカト云フコトハ、先程

答辯ヲ致シマシタ如ク、工場法案ノ内容如何ニ關係スル、現在提出シタ工場法案ノ

規定ハ、必ズシモ工場内ニ打撃ヲ與ヘルトハ考ヘテ居ラヌノデ、故ニ其結果生ズルトコ

ロノ職工ニ不便ヲ與ヘル如キコトハ、斷ジテナイト云フコトヲ申シテ置キタイト思ヒマス、ソ

レカラ第三點ハ工場監督官ノ任選ハ如何ニスルカト云フ御尋デアリマスガ、此點ニ付ア

○富島暢夫君 私ハ反對ニ思ヒテ居リマス

ハ政府ハ法案成立後ハ最モ大ナル注意ヲ拂シテ、適當ナル人間ヲ要所ニ配布スルコトハ十分ナル手段ヲ盡ス積リテ居リマス、固ヨリ學校ヲ卒業シタ人が直ゲニ工場へ往シテ、工場ヲ監督スルコトハ無理カ知ラン、デアルカラ學校ヲ卒業シタ後ニハ、一定ノ期間工場經濟或ハ工場法ニ關係シタ労働保護ニ關スル知識ヲ與ヘルト云フヤウナ、特別ノ知識ヲ授ケテ、或期間ハ養成的ノコトモヤラナケレバナラヌト唯今存シテ居リマス、吾ミノ最モ注意スルノハ、此工場法ノ施行ヲ圓滿ナラシムルコトニ付テ、非常ナ苦心ヲシテ居ルノデゴザイマシテ、ソレガタメ施行期限ニ付テハ本會ニ於テモ御答辯ヲ致シタ如ク、一年乃至二年ノ間隙ヲ置イテ、十分工場監督ノ衝ニ當ル任選ノ必要ガアレバ養成ヲ考ヘナケレバナラヌノデゴザイマス、此事ハ御承知ヲ願ヒマス

○富島暢夫君 私ハ御尋シタイ、第一條第一項第二號デゴザイマス、第二號ニ「事業ノ性

質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ」トアリマス、果シテ其性質が危險デアルカ

ナイカ、又衛生上有害ノ虞アルカナイカト云フコトニ付キマシテ、當業者ト監督官廳ト

意見ヲ異ニシタ場合ニハ、本法ノ適用ハドウナリマス、私ハ是ハ隨分適用上ニ付テ煩ニ

堪ヘヌヤウナ場合ガアリハセヌカト思ヒマス、ソレテ未項ニ「本法ノ適用ヲ必要トセアル工

場ハ勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得」ト云フ除外ヲ規定シテ居ル、是ハ寧ロ危険ナル

モノハドウ云フ場合有害ノ虞アルモノハドウ云フ場合ト云フコトヲ勅令テ具體的ニ極メタ

方が宜クハナイカト思ヒマスガ、此點ハドウデスカ、ソレカラ第二ニハ第二條ニ「工業主ハ

十一歳未滿ノ者ヲシテ云々トアリマスガ、之ヲ十三歳トスル必要ガナイト云フコトニ付

テ、政府ノ説明ニ依レバ、是ハ小學校令ニ學齡兒童ノ就學ヲ妨ゲルコトハ出來ヌト云

フコトガアルカラ、十三歳トスルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、若シ小

學校令ノ規定ニ背イテ就學ヲ妨ゲタ場合ニ、小學校令ニ何カ制裁ガアリマスカ、制裁

ガアレバ宜イガ、制裁ガナイトスレバヤハリ第二條ニ、十三歳未滿トシテ制裁ヲ加ヘナケ

レバナラヌモノト思ヒマス、ソレカラ前回ニ小寺君ノ御問ガアタヤウニ思ヒマス、ガ第八條

三「臨時必要アル場合ニ於テハ工業主ハ其ノ都度豫メ行政官廳ニ届出云々トアリマス、

是ハ工業主ガ自分ニテ必要ト認メタ場合ニハ、自分ノ意見テ官廳ヘ届放シニシテ勝手ニ

此時間ヲ延ハスト云フコトニナルノデスカ、是ハ寧ロ斯ウ云フコトヲサセナイデ全部削除ス

ルカ、又ハ左様ナ必要ノアタタ場合ニハ、官廳ノ認可ヲ經ルト云フ風ニ規定シナケレバ、

大變不都合ナ規定デアラウト思ヒマス、全然之ヲ禁止スルカ、又ハ斯ウ云フ必要ガアッ

タ場合ニハ、官廳ノ認可ヲ受ケルヤウニシナケレバ不都合ナ規定デアルト思ヒマスガ、此

點ハドウデスカ、此ニ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(岡實君) 第一條第一項第二號ニ「事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生

上有害ノ虞アルモノ」トアリマスガ、是ニ付テ官民意見ヲ異ニシテ適用上困難ヲ感ズル

コトハナイカト云フノが第一ノ御問デスガ、第二項ニ持シテ來テ「本法ノ適用ヲ必要トセ

サル工場ハ勅令ヲ以テ之ヲ除外スルコトヲ得」ト規定シテアリマスカラ、其結果ト致シマ

シテ危険デアルカ、或ハ有害ナルカニ付テ疑ノアル、官民意見ヲ異ニスルト云フヤウナ事

業ノ性質ニ付テハ、寧ロ其危険又ハ有害程度ノ少イモノニ、サウ云フ疑義ガ起ルコト、

思ヒマスガ、其方ハ勅令除外ノ方テ排除スルコトガ出來ルモノト思ヒマス

○政府委員(岡實君) ソレカラ第一ニ小學校令中ニ制裁アリヤ否ヤト云フ 御質問デアリマスガ、小學校令中ニハ制裁ハゴザイマセス、又唯行政執行法ト云フモノガアツテ、其行政執行法ノ規定ヲ適用シテ行政罰ヲ科スルト云フコトハアリマスガ、罰則トシテハ特ニ規定ハゴザイマセス、ソレデ小學校令ハ今日罰則ヲ設ケル必要ヲ認メテ居ラズモノト吾ミハ認メテ居リマスガ故ニ、十三歳ノ者ヲ使タナラバ——十二歳ノ者ヲ使タナラバ罰スルコトニシヤウト云フコトハ、一方ニ於テ小學校令ニ制裁カナイノデアリマスカラ、今度十一ヲ十三ニシテ、十一カラ十三ノ間ノ者ヲ使タナラバ罰スルト云フコトニスルノハ、稍々小學校令ノ規定ト權衡ヲ失フヤウナコトガ無キヤト云フコトヲ懸念シテ居ル次第アゴザイマス、ソレカラ臨時必要ノ場合ニ付テ、認可ヲ得サセテハドウカト云フコトガ第三ノ御尋ノヤウデアリマスガ、實ハ初メハ認可ヲ得セシムルコトニシテ、去年ハ一度立案ヲシテ、公私ノ意見ヲ問フタコトガアリマスガ、認可スルコトニスルト官廳ノ認可書ガ到達スル前ニ、臨時ノ必要が去シテシマフト云フコトガアツテ、當業者ハ大ニ苦痛ヲ感ズル、臨時必要ト云フコトハ豫定シ得ズ、其場合ニナシテ必要が起ルノデアルカラ、希クバ工業主自ラ之ヲ決定スルコトニシテ貴ヒタイト云フ說ガ段々出マシテ、成程臨時必要ト云フコトニ付テハ、官廳ノ認可書ノ到達スル前ニ必要ノ去ルト云フコトモ、吾ミハ之ヲ認メナケレバナラヌト存ジマシタメニ、認可制度ヲ撤廢シテ、一月ニ七日ヲ超エザル範圍ナラバ、必スシモ大ナル害ハ生ジマイト云フコトコロカラ、届出ニ濟マスコトニ修正致シタヤウナ次第デゴザイマス

○富島暢夫君 併シ之ヲ誤用シタ場合ニドウナリマスカ

○政府委員(岡實君) 臨時必要ト云フコトハ、若シ臨時必要ガ無イニ拘ハラズ、延バシタト云フコトガ明カリナレバ、此規定ノ保護ヲ受ケヌコトニナリマス、併シ是ハ理窟デハサウナラウト存ジマス、即チ臨時必要ナキニ拘ハラズ一時間延シタト云フコトニナレバ、十二時間以上兒童ヲ使タモノトシテ罰シナケレバナラヌト思ヒマス、理論上サウナルト思ヒマス

○八木逸郎君 四ツ五ツ小サイ質問ガアリマスカラ連續シテ御許ヲ願ヒマス、同ジャウナコトデアリマスガ、満十二年ト云フモノヲ満十三年ニシナケレバ、義務教育ハ濟マナイ、其濟マナイ、一年ヲ尙且此工場法テ使用スルコトヲ許シタノハ、義務教育ノ場合ニ於テ他ノコトニ依ツテ義務教育ヲ妨ゲルコトヲ得ズト云フ箇條ガアルカラソコデ此所ニ載セテアル、斯ウ云フコトニ承ツテ居リマスガ、全體義務教育ハ一面ニ國民ガ或程度マテ教育ヲ施サナケレバナラヌト云フコトカラ參ツタノデ、ソレト同時ニ此幼弱ナル者が段々成長スル場合ニ於テハ、非常ナ壓制ナ教育ナリ無理ナ教育ナリハ、決シテ幼兒ノ教育ノ上ニ宜シクナイト云フタメニ義務教育ハ如何ニ長クシモ五時間ヨリ教授ハシテ居ラヌト思ヒマス、其五時間ノ中ニモ或ハ教授ト云ヘバ教授、遊ト云ヘ遊デ、體操唱歌ノ時間ガ加ハシテ居ツテ、幼兒ノ發育ヲ阻害セヌヤウニナシテ居リマス、然ルニ文字ノ上ニ義務教育ヲ妨ゲナケレバ他デ多ク使ツテモ構ハスト云フコトニナレバ、義務教育ニ依ツテ時間ヲ制限マシテ遊バセ、半分教育ヲシナケレバ幼者ガ身體ノ發育ニ妨ガアルト云フ意味ト、餘程異ナリハセヌカト思ヒマス、寧ロ我ミノ立派ニ此除外例ニ其事ヲ書イタノハ、實際ノ日本ノ現狀ガ今日マデニ於テ義務教育以内ノ者ヲ一ノ工場テ使ツテ居ル、忽チ義

務教育ノ支配ヲ受ケテ之ヲ撤去スル上ニ於テ、困難ヲ感スルト云フヤウナ斟酌ノ形カラ、已ムヲ得ズア、云フ除外例のモノヲ附加ヘラレタノデ、教育ノ本旨デナイカト思ヒマス、然ルニ其意味ヲ捉ヘテ直チニ工場法ニ適用スル、工場法ニ適用シテ、折角學校ニ於テ義務教育デ五時間モ頭ヲ疲ラシテ居ル上ニ、猶且ツ其餘時間ヲシテ小兒ニ向ツテ勞働ヲサセテ、ソレデ翌日——翌々日ニ於テ是等ノ者ニ向ツテ完全ナル義務教育ガ施行シ得ラレルモノト云フ御考デアリマセウカドウカ、若シ得ラレルモノトスレバ幼年ノ者ニ向ツテ非常ニ短カク教育ヲ制限シテ、サウシテ腦ノ發達ヲ妨ゲル、或ハ身體ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトニ大ニ注意シタイト云フコト、相反スルト思ヒマスガ、此點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ衛生ノ方ニ付テ一ツ伺ツテ置キタイ、全體生理學上カラ見テ人間ノ身體ハ先ヅ丁年未滿ト云フコトハ姑ラク措キマシテ、吾ミノヤウナ詰リ完全ナル形ニナツタ身體ニ致シマシテモ、生理學上カラ論シマシテ、一日ニ仕事ヲ何時間シテ寝ルコトヲ何時間シテ、遊ブトカ或ハ氣樂ニ暮スト云フコトガ生理學上ノ制限——標準ニアリマスカ、ソレヲ承ツテ置キタイ、此一ツノ御答辯ヲ得マシテカラ、他ニ尙質問ヲ續ケタイト思ヒマス

○政府委員(田所美治君) 八木君ノ御尋ニ御答致シマスガ、元來御承知ノ通り義務教育ノ年齢ハ六歳カラ十四歳マデニナシテ居リマスノデ、十四歳マデニ尋常小學校ノ六箇年ノ課程ヲ、保護者ハ終ヘシメナケレバナラヌト云フ義務ヲ負ウテ居ル、其規定ト合フヤウニ致シマシテ、保護者ノ兒童教育ニ對スル義務ヲ完カラシムルト云フ方カラ申シマスレバ、工場法ノ規定モ満十四歳ヲ最少限ニシマシテ、規定ハヤシテ貴ヒタノデアリマスケレドモ、申スマテモナク現在ノ工場ノ有様ハ、寧ロ十歳以上、十歳以上ノ者ニ於キマシテモ、貧窮其他ノ事情ノタメニ義務免除ヲシマシテ、一方ニハ工場ニ從事シテ居ルモノモアルト云フ狀況デアリマシテ、多クハ唯今僅カデアリマスガ、全部ニ義務免除ヲ致シテ居ル者ガ全國デ四万一千バカリアリマス、學校ニ行シテ居ル兒童ノ四百五十万ニ對シテ、尋常小學校ノ兒童ハ四万一千バカリアルガ、猶豫ガ其外十一万バカリアリマス、之ヲ合シマルト十五万カカリアリマスカラ、此猶豫ノ方ハ毎年六歳ニナシテ、貧困病疾其他ノ事情ノ爲メニ、數箇月若クハ長キハ一年位ノ間デ毎年猶豫ヲシテ行キマシテ、十四歳ニ至ルマデニ義務ヲ了ヘシメルト云フコトニナシテ居リマスカラ、十一万ノ方ハ直チニ免除セラレテ居ルモノト算スル譯ニハ参リマセスガ、其中ニハ免除ヲ終ニ請求シナケレバナラヌモノアリマセウガ、最近ノ統計ニ依リマスト、十一万ノ猶豫ニ對シテ義務免除ヲ全クシテ居ルモノガ先ツ四万一千バカリアルノデアリマス、サウシテ一方ノ就學歩合ハドウナシテ居ルカト云ウト、年々幸ニ増加シマシテ、今日マデハ男女ヲ合シテ九十七人八分、是ハ四十一年度ノ統計ニアリマスガ、毎年ノ歩合ヲ見マスルト大概一人以上ノ歩合が増加シテ參ルヤウナ有様デアリマス、唯今ノ工場法ノ第二條ノヤウナ制限シテ、十四歲ニ至ルマデニ義務ヲ了ヘシメルト云フコトニナシテ居ル事柄ニアラウト思フノデアリマス、完全ナコト是等ノ規定ノナイ場合ヨリモ進歩シテ居ル事柄ニアラウト思ヒマス、完全ナコトヲ申シマスレバ満十四歳ト云フコトニ即チ小學校ノ本則が求メテ居リマスル範圍ハ、總

テ除却シテ貴フト云フコトヲ求メタイノデアリマスガ、現在ノ工場ノ有様デハ俄カニ其點ニ達スルコトハ出來マイト思ヒマス、外國ノ例モ十二位アル條件ヲ附ケテ免除ヲサシテ居ルト云フ状況ニ鑑ミテモ、今日ノ工場法ノ規定トシテハ是位デ宜カラウト思テ居ルノデアリマス、元來何等ノ制裁モ出來ズ、小學校令ハ御承知ノ通り、義務教育ニ付テハ獨逸アタリデモ罰則ヲ設ケテ施行シテ居ルニ對シテ、我國ハ教育ヲ重ンズル考ノ深イ國民トシテ、今日マテ何等小學校令ノ本則モ制裁ナシニ行ハレテ居ルノデアリマス、其上ニ數年前デアリマシタカ、工場ノ雇主ハ雇用ノ關係ニ依テ就學ヲ妨ゲルコトハ出來ナイ、即チ學校ニ相當ノ設備ヲスルカ、若クハ工場内ニ小學校ヲ設ケテ小學校教育ヲ施スカト云フ規定モ加ヘマシタ、是ニ付テモ先程岡君カラ答ヘラレタ通り、何等ノ制裁ハアリマセヌカ、詰リ本則ノ今ノ工場ノ關係ニ付テノ事柄モ、制裁罰則等ノ規定ナシニ圓満ニ施行ヲ見テ居ルノデアリマス、其方カラ申シマスト、詰リ先づ今日ノ現状ニ考ヘて見マスレバ、十二歳ト云フコトニ致シマシテモ、今日ノ無制限ノ場合ヨリハ一層ノ改善ヲ得ルコトデアラウト思フノデアリマス、年齢ノ方ハサウ云フ工合デアリマスガ、時間ノ方ノ間ニモナルト云フ結果ニナルノデアリマス、是モ今申上ゲマスヤウニ大體都合好ク行ハレ側ハ第三條ニ、十二時間ト云フコトニナツテ居リマスガ、此十二時間ノ上尙今ノ小學校ノ一週間、二十八九時間乃至三十時間ト云フモノヲ課シマスト、一日ニ十六七時間ニモナルト云フ結果ニナルノデアリマス、是モ今申上ゲマスヤウニ大體都合好ク行ハレテ居ルヤウナ狀況カラ見マスルト、實際ニ於テハ義務免除ナドト云フモノハ、多ク満六歲——十二歳ヨリズット數年前ニ於テ、多ク十六歲以下位ノ時カラ父兄ノ事情貧窮或ハ子弟ノ病弱ノ理由ナドト云フモノデ、四万二千ト云フモノハ大概十二歲以前數年前ニ處分セラレテ居ルモノガ大多數ヲ占メテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ大體満十二ニナリマシテ、發育モ十歲トカ八歲トカ六歲ノ時期ヨリハ遙カニ進シテ來テ居ルヤウナ場合ニ、即チ小學校ニ於テモ初メノ一十七時間ヲ二十八時間トシ、二十九時間トシ、終ニ三十時間ニ至ルヤウニ段々年齡ニ隨ツテ時間ヲ増シテ行クヤウナ場合ニ於テハ、先づ工場ノ關係、小學校ノ規定ニ依リマシテ、實際ノ場合ニ於テハ三條ノヤウナ制限ガゴザリマシテモ、工場主ノ方ニ於テハ小學校ノ方ノ規定ノ義務ヲ果スコトハ左程心配ハアリマスマイカト考ヘマス、即チ十一時間ノ中ニ差綠シマシテ、學校ヘ四時間トカ五時間出シマシテ、其以上二時間ニ時間トカ兒童ノ年齡ニ堪ヘル位ナコトニ、雙方斟酌ヲ加ヘテ往キ得ルコトデアラウト思ヒマシテ、十二時間モ今日ノ現状ニ於テハ先づ忍ハナケレバナルマイト云フコトデ、文部省モ同意ヲ致シタノデアリマス、十分ノコトヲ申シマスレバ無論尙強イ制限ヲ加ナケレバナラヌカト考ヘマスルガ、今日ノ現狀……

○八木逸郎君　滿十三歲デ「丁ルヤウニ思ヒマスガ……」
○政府委員（田所美治君）　斯ウナツテ居ルノデアリマス、滿六歲カラ満十四歲ニ至ル間ヲ學齡ト名ヅケテ居ルノデアリマス、是ハ滿四箇年デゴザイマス、一三年前カラ六箇年ニ義務教育が延長サレマシタノデ、唯今ハ八箇年ニナツテ居リマスガ、六歲カラ十四歲マデ八箇年ノ間ニ、兒童ノ年齡ガ元ハ四箇年今日ハ六箇年ノ義務ヲサセルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデゴザイマスカラ満十四歲以上ニナリマシタラ、絕對ニ國家ハ強制スル權利モナケレバ、又保護者ニ於テ兒童ヲ就學セシムル義務モナイノデス、ソレデ満六

歲三丁度入學シマスレバ十二歲ニ終ルコトニナツテ居リマス、滿六歲何箇月デ入リマスレバ、落第ナシニ參リマスレバ十二歲何箇月デ終ル、滿七歲デ入レバ満十三歲デナケレバ了ヘナイ、ソレデゴザイマスカラ第二條ノ制限ヲ十三歲ニ致シマシテモ、實際ハ十二歲以上十四歲位ノ者モ現ニ小學校ニハ居ルノデゴザイマス、又十四歲以上ニナリマシテモ小學校ノ義務ハ是非了ヘサセタイト思フ父兄ハ、十五歲位ノ者モ就學セシメテ居ルト云フヤウナ有様デゴザイマス、尋常小學校ニハ五年六年ノ中ニ満十二歲以上ノ者ハ大部分入シテ居リマス

○熊本壽人君　少々御尋ヲシタイ、清酒、其他ノ酒類、酢、味噌、醤油等ノ製造工場トシテハ、二十人未満ノ職工ヲ使用スルコトハ除外セラレルコトガアルト云フヤウニナツテ居リマスガ、御承知ノ通り清酒ノ如キ酢ノ如キモノハ、或ハ季節ヲ限シテ人ヲ使フノデアリマス、其季節ヲ過ギレバ現状ニ復スルト云フ譯ニナリマスガ、三日デモ五日デモ一十人以上ニ達シタトキニハ、無論此恩典ニ預ル譯ニナルノデゴザイマセウカ、ソレカラモウ一つハ經木及ヒ麥稈眞田ノ製造ノ如キモノハ除外セラレルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、經木及麥稈眞田ノ如キモノノ除外セラル、譯ニゴザイマスレバ、之ニ似寄ノ品ノ花蓮業ノ如キ岡山縣ハ先づ之ヲ別ト致シマシテモ、廣島縣ノ如キ、大分縣ノ如キ、或ハ石川縣ノ如キ、福島縣ノ如キトコロハ、誠ニ此麥稈眞田或ハ經木眞田ノ製造業ト能ク其狀態ヲ同シクシテ居ルヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスガ、ソレ等ノ状態ニ付テハ此除外例ノ中ニ入レテナイノハ如何ナル理由デゴザイマセウカ、此ニツラ御尋シタトイ思ヒマス

○政府委員（岡實君）　御手許ヘ二月十七日ニ配布致シマシタ第一條ニ關スル書ハ、曩ニ小寺君ノ御要求ニ依テ差上ゲタノデゴザイマスガ、之ニ付テハ工場法確定後、更ニ十分ニ審査ヲシテ決定シナケレバナラヌ事柄デゴザイマシテ、茲ニ掲ゲマシタノハ大體ノ目安若クハ標準ヲ、之ニ依テ御承知下サレタイト云フコトヲ其節モ申上ゲタ次第デアリマス、ソレデ逐一茲ニ掲ゲタル仕事ノ内容ニ入シテ、是ハアルガ是ガナイカラ往カヌ、サウ云フコトヲ研究シテ參リマスト、殆ド各種工業ニ瓦ツテ權衡ヲ取シテ説明シナケレバナラヌコトニナラウト存ジマス、而シテ其各種工業ニ瓦ツテ更ニ精確ナル調査ヲシテ御手許ヘ廻シ、之ヲ確定案ナリトシテ説明致スト云フ運ビニハ、唯今ノトコロ實ハ達シテ居リマセヌノデゴザイマシテ、今熊本サンノ御尋ノ如キニ對シテモ、確定的ニ茲ニ御説明ヲ申上ゲルト云フコトハ實ハ困難ヲ感ズルノデゴザイマス、併ナガラ折角ノ御尋デゴザイマスカラ、唯今私ノ考ヘテ居リマスルトコロダケヲ概略申上ゲマス、ソレデ十人以上使用工場ハ當時十人以上使フコトヲ必要トシタノデアリマシテ、臨時即チ一時限り十人以上ニナツテモ、是ハ必ズシモ工場法ニ其度毎ニ適用上引懸ツテ來ルモノデハナイ、斯ノ如キ意味ニ解釋ヲ願ヒタインデゴザイマス、ソレデ清酒其他酒類ノ如キハ、一定ノ季節即チ臨時デナク特定ノ季節ニハ、必ズ製造ヲナシ、其季節内ニハ工場ニ於テ豫定シタル人數ニ應ズル一定ノ設備ヲ用ヰテ、一定ノ人間ヲ使フコトニナツテ居ル故ニ、若シ其季節内ニ於テ十人以上ヲ使フタナラバ、ヤハリ其工業ニ關シテハ當時十人以上ヲ使フモ

ノトシテ本法ノ適用ヲ受クベキモノトスウ御承知ヲ願ヒタインデ、併ナガラ何故ニ清酒其他ノ酒類ニ二十人未満ノモノ除外セントスルカ、其説明ト致シマシテハ、是等ノ製造業ハドツカト言ヘバ青年男工ガ多イノデ、婦女幼少者ノ如キハ比較的少ナイ、又之ニ從

事シテ居ル者ハ、極ク廣キ場所ニ於テ相當ニ身體ヲ運動シツ、働くモノデ、一定ノ場所ニデットシテ終日何等身體ヲ活動サスコトナクシテ働くモトハ、餘程状態が違ッテ居ル、加之ナラズ瓦斯ハ生ズルノデアリマスガ、其瓦斯ハ必ズシモ之ヲ以テ有害瓦斯トシテ取扱フベキモノデハナイ、果シテ然ラバ是等ノモノハ先づ二十人マデハ工場法ノ適用ヲ除外シテ差支ナイカラ、茲ニ掲ゲタ次第ゴザイマス、第四ニ經木及麥稈眞田ヲ入レテ居ルガ、サテ花筵ヲドウスルカト云フコトデアリマスガ、經木眞田ヲ掲ゲテ花筵ヲ舉ゲナカッタ理由ハ、御承知ノ如ク經木或ハ麥稈ノ如キハ主トシテ手デ製造ヲ致シテ居ル者ガ多イノデアリマシテ、或ハ商店ノ一階トカ或ハ極ク廣キ場所ニ、婦女幼少者が集ツテ手デ編ンテ居ル組織編物ノ工場ト類似シテ居ルノミナラズ、經木或ハ麥稈ノ如キハ花筵ヲ織ルガ如ク粉塵ガ立ツト云フコトガナイガ、花筵ニナルト蘭カラ立ツトヨロノ塵埃ト云フモノガ相當ニ酷イカラシテ、經木ヲ入レテ花筵ヲ茲ニ掲ゲナカッタ次第ゴザイマスガ、其點付テ確定的ニ意見ヲ唯今申上ゲルコトハ實ハ困難ヲ感シテ居ル次第ゴザイマス、其點御了承ヲ願ヒマス

○内務技師(野田忠廣君) 先刻八木君カラ生理上ノ御質問ガアリマシタガ、實ハ八木君モ専門家ニアリマスシ、十分御承知ト思ヒマスカラ大體ノコトヲ申シテ置キマスガ、生理學上カラ一日人間ノ勤労時間ニ就テハ、四季ニ亘る時間及睡眠ニ亘る時間ヲ、何歲ノ者ハ何時間ト云フ極ク嚴格ナル定メハゴザイマセヌ、或衛生學者ハ極クアラボックテ二十四時間ヲ三分シテ、八時間勤ギハ時間ハ安息シハ時間ハ睡眠スルノガ相當アルト云フ學者モアリマスガ、年齡體質ニ依リマシテ種々其間ニ等差ヲ付ケナケレバナラスト思ヒマス、吾ミ信ズルトヨロニ依ルト、先づ大體ニ於テ一日ノ勞働時間ハ八時間及ビ十時間ガ相當アラウト信ジマス、但シ極ク輕易ナル業務デ、身體精神ヲ勞スルコトが極メテ少ナイモノニ於テハ、年齡及體質ニ依リ十二時間マテ延長シテモ衛生上大ナル害ハナイト信ジマスル、又睡眠ノ問題ニ付テハ身體及精神ノ疲勞ヲ恢復スルタメニ、生理學上睡眠が必要ニアリマス、是モ年齡ニ依リ差ガアリマスガ、子供ニ於テハ十時間以上少年ニ於テハ八時間乃至十時間ハ必要ニアリマス、成年者ニ於テハ八時間若クハ七時間ニ満足スルコトが出來ルト思ヒマスガ、確乎タルモノハ分リマセヌ

○八木逸郎君 先ニ御説明ノアリマシタ如ク、十歳未満ノ者ハ現在ノ如キ制裁ガアッテモ、男女ヲ入レテ就學ガ九十七、八九「ブロセント」ニナクテ居ルト云フコトデアリマシタ、又誰カノ御質問ニ對シテ、十二歳以下ノ者ヲ日本ノ職工場デ使ツテ居ル數が男女合セテ五千人ト云フヤウニ承テ居リマス、日本全國ニ於テ五千人シカ使ツテ居ラヌタメニ、工場主ノ意ヲ迎ヘテサウシテ吾ミが最モ尊重スベキ義務教育ノ範圍内ニ於テ、之ヲ使用セシムルト云フコトハ、或ハ一面カラ見レバ教育ノ方ニ餘り損害ガナイヤウニ見エマスガ、或一面カラ見レバ又工場主ニモ大シタ苦痛ヲ覺エヌヤウニ思ヒマスガ、サルニモ拘ラズ特ニ工場主ノタメニ圖ツテ此除外例のモノヲシナケレバナラヌト云フ必要ハ何レニアリマスカ、ソレカラ第二條ニ工場主ハ十五歳未満ノ者ハ一日十一時間ヲ超ヘテ就業セシムルコトヲ得ズト書イアリマスガ、今野田君カラ承リマシタノハ、大難駆ニ睡眠八時間、安息八時間、勞働八時間ト云フコトヲ極メテ居ルケレドモ、衛生學上確固不拔ノモノデハナイト云フヤウナ御答デアリマシタガ、吾ミハ先づソレヲ以テ原則ニ立テ、

居ルヤウニ聞イテ居リマス、ノミナラズ無論體質年齢ニ依テ異リマスガ、大體ニ於テ時間ノ割當が發育スベキ幼年少年ニ向テハ寧ロソレヨリハ勞働時間ナルモノヲ少ナクスルト云ウコトヲ爲サネバナラヌ譯ニアラウト思フ、ソレガ百時間モアレバ兎ニ角、僅カ一日二十四時ノ中ニ十五歳未満ナレバ、八時間ヲ六時間五時間ニ縮メルが當然デ、現ニ義務教育デモ初メハ三時間後ニ四時五時間トナルニモ拘ハラズ、十一時間ヲ超ヘテ就業セシムルコトヲ得ズトナルト、十二時間ハ就業サセテ苦シカラズトナリマスガ、此ノ如クナレバ身體ノ保護ヲ完ウスル點ニアリマセウカドウカ、要スルニ先程福井君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ答ヘラレタ點モアルケレドモ、御承知ノ通り紡績ノ如キハ一種ノ紡績病ト云ウ病氣ガアル、其病氣ハ多く勞働時間が長ク、身體疲勞ノ結果神經衰弱ノヤウナモノヲ起シテ、ソレガタメニ食ガイケナクナル、結核ニ襲ハレルト云フヤウナ、他ノ書物他ノ社會ニ於テ見ルコトノ出來ナイ疾病ガアル、ソレハ事實デアル、若シサウニ云フ病氣ガ起リマシテモ、醫者ガ藥ヲヤッテモ癒ラナイ、併ナガラ一日カ二日休マセルト癒ル、ソレヲ勉メテヤルト大患ヲ釀ス、要スルニ時間ヲ長ク勞働ヲ激シクサスマニ、一種書物ニ書イテナイ病氣ヲ起スコトガ實際ニアル、斯ウニ云ウコトヲ考ヘテ見マスルト、出來能フダケ制限ヲスルト云フコトガ、勞働者ノ保護ニ向テ最モ宜イコトデアルノミナラズ、身體ノ疲勞シタモニニ職業ヲサセテ精細ナル仕事ハ出來ナリ、眞面目ナ仕事ハ出來ナイカラ、工業經濟ノ上カラ云ウテモ、時間ヲ短ク眞面目ナ勤ラスル結果ガ良善デアルト思フニ拘ラズ、尚且極ク身體ガ成立シテ居ラヌ十五歳未満ノモノニ、十二時間ハ課シテ宜イト云フコトヲ御規定ニナリマシタノハドウ云フ譯ニアリマス、ソレカラモウ一つ全體ニ亘ツテアリマスガ、工場ハ種々ナ種類ガアリマスルカラ、一々種類ニ依テ工場法ヲ拘ヘルコトハ無論無理ナ話アリマセウケレドモ、大體ニ於テ礦山ノ如キ紡績ノ如キ大キナモノニ向テ——サウシテ細カイモノニ向テ——例ヘバ紡績工場法或ハ礦山工場法トカ云ツタヤウニ、少ナクモ三種或ハ四種ニ分ケテ法律ヲ拘ヘレバ、寧ロイロノナ勅令ヲ拘ヘテ、或ハ實際ニ苦情ヲ起ス場合ヲ除却サレテ完全ニ往クコトニナリハセヌカ、此工場法が出來テ非常ニ恐慌ヲ起スモノガナイデモナカラウ、併ナガラ此工場法が出來タカラトテ、コンナ非文明的ナモノヲ出シテ政府ハ何ラスルト笑ツテ居ルヤウナ者ガナイデモナカラウト思フ、即チ政府ガ自ラ言フ善イモノト極ク惡ルイモノトアル、其極ク惡イモノヲ中位ニ引上ゲタイト云フ意味デアルナラバ、種類ヲ分ツテヤツタラバ、寧ロ工場主ヲモ斟酌スルコトが出來ル、又勞働者ノ方モ斟酌スルコトが出來テ都合が好イト考ヘラレニモ拘ラズ、政府ハ一律ノ下有餘使ツテ居ル、内千有餘ト云フ者ガ十二歳以下ノ者デゴザイマシテ、其割合ハ百ニ對シテハ、五ノ割合ニナクテ居リマス、硝子等ニ致シマスルトニ、二ト云フ割合ニナクテ居リマス、是等ノ工業ハ御承知ノ如ク中ニハ經濟ノ宜イモノモゴザイマスルガ、併シドチ

ラカト言ヘバ寧口經濟上同業者ノ多大ナ競争ヲ受ケテ、營業上收益少ク寧口甚ダ不
安ナル狀態ニ置カレテ居ルモノガ多イニテゴザイマス、是等ノ點ハ特ニ説明セズトモ御承
知ノコト存ジマスルガ、ソレデ殊ニ幼者ヲ多ク使ッテ居ル、是等ノ工場ノ現状ヲ餘リ多
ク變ヘナシメニ斟酌ヲナシタノテゴザイマス、前述以外ノ其他ノ工業ニナリマスト、十
二歳以下ノ如キ者ハ實際間ニ合ハヌ、却テ工場へ來テ居シテモ邪魔ニナル、故ニ決シテ採
用シナイト云フ方ノ側ノ工業が隨分多數ゴザイマス、而シテ燐寸、硝子、或ハ織物、印
刷製本等ニ於テ、十二歳前後ヲ使ツテ居ルノモ一方ニハ勞銀ヲ廉クスルト云フ考モゴザ
イマスルガ、他ニハ貧民ノ親ヨリ子供ヲ頼マレテ、已ムヲ得ズ筆墨ノ材料、即チ小遣ヒヲ
得ンガ爲メニ已ムヲ得ズ承諾ヲシテ使ツテ居ルト云フヤウナ事例モナカク澤山アリマス、
言葉ヲ換ヘテ言フト、工場主ガ好ンテ使フコトモアルガ、又實際貧乏人カラ燐寸ノ箱ヲ
貼ラセテ貰ヒタイトカ、或ハ硝子ノ汚レヲ掃除スルコト、又ハ箱入等ニ使ツテ貰ヒタイト
云フヤウナ依頼ヲ受ケテ、止ムヲ得ズ使フ譯テ、唯今ノトコロ此等ノ業ニハ百分ノ六トカ
三トカノ比例デ十二歳以下ノ者が從事シテ居ルト云フヤウナ譯テゴザイマス、ソレデ本案
ニ於テハ十二歳以下ヲ原則トシテ禁ジマシタケレドモ、事業ノ如何ニ依ツテハ一定ノ制
限ノ下ニ十二歳以下ノ者ヲ使ツテモ宜イト云フ 第二項ヲ設ケタノテ、一二工業ノ現狀
ヲ變ヘナシタル、即チ貧乏人ガ子供ヲ工場ニ出シテ居ルト云フノヲ防ケナシタメ、指
定ノ條件ヲ十分ニ守ラシテ後ナラバ、必ズシモ十二歳以下ノ者ニ付テ、就學ノ義務
其他健康上ノ事柄モ顧慮スベキ事柄ハ少ナカラウト云フコトカラ斯様ニ致シマシタ、若
夫レ十四歳以下ト云フコトニ致シマシテハ、逆モ今日差上ゲテ置キマシタ工場及職工ノ
中ノ調ニゴザイスル如ク、十四歳未満ノ男ガ六千、十四歳未満ノ女ガ二万ト云フコ
トニナツテ居リマス故、十二歳以下ニ比シテ歩合ニ於テ遙カニ殖エテ參リマス、故ニ進
デ十二歳以上十四歳未満ノ者ヲ禁ズルコトニ致シマスト、更ニ多大ノ影響ヲ是等ノ工
場ニ及ボシテ參リマス、故ニ現在ハ先づ十二歳ヲ以テ限度トシテ差支ヘアルマイト云フ
ノデ、之ニ打切ッタノアリマス、ソレカラ十二時間ヲ許ス以上ハ、十二時間以上就業
サセテ宜イカト云フ御質問ハ、文部省ノ政府委員ニ御答辯ヲ願フコトニ致シマス、又十
二歳位ノ幼者ニ勞役ヲ課スルト云フノハ、餘り酷過ギハシナイカト云フ考モアリマスルガ、
此事ニ付テハ最初ニ申述ベマシタ如ク、純然タル衛生論若ハ社會政策學ニ依ル純正ノ
學理ヲ主張スル人ノ希望ニハ、固ヨリ副ツテ居リマセヌノアリマス、併シナガラ之ヲ工業
方ノ沿革ニ見テ見マシテモ、英吉利ノ如キハ最初カラ九歳未満カラ禁ズルコトニシ、佛
蘭西ハ八歳未満カラ禁ズル、塊地利ハ九歳未満ヲ禁止シテ居ル、普魯西ノ如キハヤ
バリ九歳、併シナガラ此ノ如キ各國ニ於テモ幼童ノ工場勞働ヲ禁止スルノハ餘程意ヲ
用井ア成ル工場經濟ヲ均シ考ヘテ居ツタ迹が歷々トシテ沿革上ニ見エテ居リマス、
我國が最初ニ工場法ヲ立テルニ當ツテ、之ヲ十二歳ニ打切ッタト云フコトハ、其工業種
類が歐羅巴ノ各國ニ現ニ存シテ居ル原動力ヲ用井、化學的作用ヲ爲ストコロノ進ンダ
工業ヲ日本ニ移シテ來テ、列國デ九歳未満ヲ禁ジタ時代ノ狀態ヨリモ、工業狀態ガ衛
生上顧慮スベキ點ガ多クナツテ居ルト云フ點ヨリシテ、列國ノ沿革上ノ事例ヲ顧ミズ、思
ヒ切ッタ規定ヲシタモノアリマスカラ、其點ハ御了承ヲ願ヒタイトノアリマスカラ、此
二時間ノ制限ヲ設ケテモ、必ズシモ十二時間、働く時間、必ズシモ十二時間、働く時間、

點ハ工場主ニ於テ兒童ノ作業ト體力ニ應ジテ、相當ノ保護上ノ注意シサスコトニスレバ
差支ガアルマイト存ジマス、ソレカラ其他ノ御質問中、紡績トカ、製絲トカ、或ハ鑛
業トカ云フヤウナ工合ニ、工業ヲ區別シテ立法ヲスル方ガ、却テ實地ニ適切ニ往キハシ
ナイカト云フ御質問テゴザイマスガ、此點ニ付テハ吾々共モ餘程考ヘタノデゴザイマシテ、
サウスル方が理想トシテ宜イト云フコトニナルノアリマス、併ナガラ若シ工場ノ種類ニ依
テ工場法ヲ異ニスルト云フコトニナツテ來ルト、同ジ工業ノ中ニモ仕事即チ業務ノ異ナル
ニ從ツテ、更ニ別々ニ工場法ヲ立てネバナラヌト云フコトが起ツテ來ルト思ヒマス、今其例
ヲ舉ゲマスレバ、最モ不健全ナル「プラッシ」ヲ搭ヘル工場デモ、骨ノヤウナモノヲ器械ニ依
ケテ、ソレヲ摺ツテ居ル所ニ參リマスト、殆ド部屋ノ中ハ霧ノ掛ツタヤウニナツテ、惡臭鼻ヲ
衝イテ殆ド吾々トシテハ居ラナイ位ノ狀態ノ場所モアル、併ナガラ今度ハ部面ヲ轉ジテ、
ソレヲ布帛又ハ革デ磨キヲ掛ケテ居ルヤウナ手工ノ場所ニ參リマスト、モウ何等ノ粉塵ハ
ナイ、奇麗ニ仕上ゲタモノヲ更ニ磨キ掛ケテ居ルノデアルカラ、實ニ奇麗ナ「プラッシ」ノ取
扱デゴザイマシテ、吾々ガ日々口ヲ洗フニ用ユル清潔ナルモノヲ取扱フテ居ル、又其モノニ
刻印ヲ打ツト云フ所ニ行ツテ見テモ、危險ノ狀態モナケレバ、子供ガソニ居ツテモ差支
ナイト云フコトニナル、其次ノ部屋ニ行ツテ見ルト、ソレヲ數ヘテ箱ニ入レル、箱ニ入レタ
ノヲ紙ニ包ム、紙ニ包ンダ上ニ「レッセル」ヲ貼ル、子供ガソニ居ツテモ何等ノ不都合ガナ
イト云フ狀態ガゴザイマス、紡績ニシテモ同シコト、總テノ作業ヲ通ジテ或ル所デハ非常
ニ激シイ作業アル、白人デハチョット長居が出來ヌヤウナ狀態ガアルカト思ヘバ、他方
面ニ行ツテ見ルト、マルテ天地ヲ換ヘテ清潔テ粉塵ガナイト云フヤウナ狀態デアツテ、是等
ノ差等ハ總テノ工場ヲ通ジテゴザイマスルガタニ、若シ紡績工場法燐寸工場法ヲ立
テルト云フヤウナコトニシマスレバ、其部面々々ニ付テ更ニ別々ノ法ヲ立てナケレバナラヌヤ
ウナコトニアリマス、此等ノ理由ニ依リ結局總テノ工場ヲ通ジテ、工場法ヲ立テルニ如ク
ハナシト云フコトニナツタノアリマス、而シテ工場内ノ各仕事ニ於テ特ニ危險又ハ有害
ナルモノニ付キマシテハ、特別ニ制限スル必要ヲ認メマシタカラ、本案ノ九條十條ニゴザ
イマス如ク、或作業ノ中ニ最モ危險ノ所デハ十五歳未満ノ女ヲ使ツチヤ行ケナイ、或ハ
五歳未満ノ子供ヲ使ツチヤ行ケナイ、必要ト認メレバ女ニモ禁ズルト云フコトヲ書イテ
置キマシテ、原則トシテ一般ノ工場ニ通ジテ、而シテ工場中ノ或ル部面ニ付テハ女子
小供ヲ禁ズルト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス

○政府委員(田所美治君)チヨット御答シテ置キマス、岡君カラ御答ニナリマセウト
思ツテ居リマシタ、併シ先程申シマシタヤウナ譯テ、教育上カラ申シマスレバ第二條ハ滿
十四歳ノ女子ハトアツテ、又第三條ハズット時間ヲ減シマシテ少クトモ十四歳未満ノ者
デ、即チ義務年齢ノ中ニアル者デ未ダ小學教育ノ課程ヲ了ラザルモノニ對シテハ、八木
サンノ丁度御心配ノ點ニ基キマシテカラニ、十一時間ヲズット減シタイト云フ無論教育
上カラ希望ヲ持ツテ居リマスガ、併シマア今日何等工場法ノ規定モゴザイマセヌ、第二
條ノ年齢規定モナク、第三條ノ時間ノ規定ハ無論ゴザイマセヌ、今日ニ於テモ先づ教
育ノ方面カラ見マスルト云フト、年々工場ノ進歩ニ依ツテ教育ノ退却スルト云フ方デハナ
クシテ、好都合ニ進歩シテ參ツテ居ルノアリマスカラ、此第三條ノヤウナ十二時間、之ニ
小學校ノ五時間ヲ加ヘマシテ一日ニ十七時間實際ヤラセルト云フコトニナツテハ、ソレハ

大變デアラウト思ヒマスガ、極ク最小限ニ致シマスレバ満十二歳ニシテ小學校ヲ卒業スルコトニナリマス、實際ニ於アハ十三歳ノ者モゴザイマス、十四歳ニ垂ントスル者モゴザイマセウガ、第三條ハ詰リ第一條ノ制限ノ上ニ第二條ノ制限モ加ブテ居リマスカラ、實際ニ於キマシテハ四時間五時間、學校ニ依リマシテハ残リノ時間、即チ午前モ學校ニヤリマスレバ午後モ幾部分ヲ工場ニヤルト云フヤウナコトニナリマシテ、又最大限ニ於キマシテモ當時ニアルト云フコトデハナイト存シマシテ、曩ニ御話シマシタ小學校令ノ工場主ニ對スル規定ト、先ツ相俟ツテ是モ教育上カラ一步進シダ制限デハナカラウカト考ヘマス、十分ナコトハ理想的ニハ參ツテ居リマセヌケレドモ、其邊ヲ御了承ヲ願ヒマス

○伊東要藏君

モウ御終ヒニナリマスカ、未ダ質問會ヲ續ケマスカ

○理事(古賀庸藏君) マダアト開ク積リデアリマスガ
○伊東要藏君 ソレデハチヨット監督官ニ付テ御質問ガアリマシタガ、要スルニ監督官其人ヲ得ルト、此法ノ實行上工場主ニ苦痛ヲ感ジサセルコトが少クテ、而シテ勞働者ヲ保護スルコトが出來ルト云フ大切ノコトデアルト思ヒマス、其監督官ノ人選其他ニ付テ先刻御説明ガアリマシタガ、監督上ノ其組織デゴザイマスカ、或ハ是ハ地方廳ニ現在ニヤツテ居ルヤウナ工合ニ委カシテ御ヤリナサルノデアルカ、或ハ監督官ト云フモノガ農商務主管ノ下ニ出來テ、サウシテ之ヲヤルト云フコトニナリマスカ、又地方廳ニ任せルト云フコトニ付テハ、ドノ位ノコトヲ任セルト云フコトニ付テ、唯今大體ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(岡實君) 御答ヲ致シマス、監督組織ニ就テハ種々攻究致シマシタノデゴザイマスガ、先進國デ行ハレテ居ルトコロデハ、工場監督ニ付キ大小ノ區署ヲ置キマシテ、工場監督大區工場監督小區トシテ、地方廳ト分立致シテ居リマス、斯クシマスルト、實際工場法ノ適用ヲ専門ニヤリマスノデゴザイマスカラ、却テ目的ヲ達スルニハ宜カラウト存ジマスガ、併ナカラ日本デハ工場法ハ最初ノ施行デアルカラ、之ニ就テハ十二分ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ、即チ各地方々々ノ事情ヲ斟酌シテ、其地方ノ事情ニ精通シテ居ル人間が責任ヲ帶ビテ行政ヲシテ行カナケレバ、往々ニシテ事實ニ適合シナイヤウナ事柄が現レテ來ルコトヲ恐ル、ノデアリマス、其結果吾々共ノ考ヘテ居リマスノハ、之ヲ各地方廳ニ委ネル、各地方長官ノ下ニ此工場監督官吏ヲ置キマシテサウシテ總ア重大ナル案件ハ地方長官——即チ地方ノ各種ノ事情ニ精通シテ居ル地方長官ヲシテ其衝ニ當ラシムル方、施行ヲ圓滿ナラシムルニ適シテ居ルト考ヘマス、而シテ各地方ノ工場ノ種類、職工ノ數、工場ノ數ニ依リ地方ヲ一等二等三等地ト區別致シマシテ、工場ノ多イトコロヘハ、高等官ノ監督官ヲ置キ、或ハ設備ノコトニ關係スル、或ハ衛生ノコトニ關係スルモノハ、各專攻ノ技術者ヲ置ク、又工場ノ數モ少ク種類モ單純デアル所ニハ、サウ澤山置カナイ、主任ノ高等官一人位ヲ置キ其下ニ助手ヲ置キ、之ニ對シ知事が後見ヲシテ行クコトニスル積リデアリマス、結局地方廳ト分離シテ監督署ヲ置クヨリモ、地方廳ニ委ネタ方が工業家ニ取ツテモ、イロイロノ事情が能ク疎通シテ都合ガ宜カラウト云フコトニ、大體考ヘテ居ルノデゴザイマス

○理事(古賀庸藏君) 今日ハ是デ散會致シマス

午後零時十二分散會